

子どもと教育・文化を守る

大阪府民会議ニュース

事務局 大阪教職員組合書記局内

TEL 06・6768・2330

FAX 06・6768・2239

発行 2010年10月6日

NO. 2

メールアドレス

daikyoso@
daikyoso.jp

高校教育シンポジウム

を開催(9月25日)

大阪の高校教育の問題点 と課題が明らかに

大阪教職員組合高校部
(府高教・大阪市高教・大
阪私学教職員組合)は、大
阪社会福祉指導センターで
大阪高校教育シンポジウム
を開催しました。「学費無
償」時代の大阪の高校教育
のあり方を探る〜大阪の公
立・私学の現場から〜を
テーマに4名のシンポジス
トの発言、約10名のフロ
ア発言で大阪の高校教育の



問題点と課題が明らかにな
るシンポジウムとなりました。
「今春の公立全日制高校
入学枠の拡大の効果は明白。
しかし大阪の全日制高校進
学率は全国で45位といま
だに低い状態。」(府高教・与
田副委員長)

「公立高校授業料無償化・
就学支援金の制度は始まっ
たが、教科書代や修学旅行代
などまだまだ教育費の個人
負担が多い状態。」(市高教・
竹下先生)「今年度から大阪
と京都の私学は年収350
万円未満の家庭は授業料無
償化になった。学校によっ
て、対象生徒が数人のところ
から3〜4割のところも
あり、学校間で格差が大き
い。」(大私教・岩井書記長)
「不況による家庭状況から
して当然公立志向は高い。
公立全日制の入学枠拡大に
は多くの生徒が救われた。
中学校の3年生の担任とし

ては高校の多様化、学科・コ
ースの再編成など変化があ
まりに激しく対処するのが
大変。」(東淀川中学・更家
先生)など、シンポジスト
から問題意識の提起があり
ました。

コーディネーターの府高
教の米山書記長は「出され
た問題・課題は多岐にわた
っています。すぐ解決でき
る問題ではなく、今後とも
じっくり学校だけでなく、
社会全体で議論していくこ
とが必要だと思われれます。」
とまとめました。



教育全国署名と

パブリックコメントに

取り組みましよう!

文部科学省は8カ年での
少人数学級推進計画案を決
定しましたが、初年度は公
開で行なう「政策コンテス
ト」(事業仕分け)で決める
「特別枠」での要望項目と
しています。各府庁からの
要望額総計(3兆円)を絞
り込むため、「国民に広く意
見を聞く」として

月 日

締切 意見募集してい

ます。1兆円強までの大幅
な財政削減が予想されます。
確実な実現のため世論の力
で後押しをすることが必要
となっています。教育全国
署名の成功とともに、この
パブリックコメントへの取

り組みも同時に行なってい
く必要があります。

各団体や個人の方がまわ
りの方の協力も得て取り組
んでいきましょう。

へ ッ ユー

府内のある市では、職場
の職員がPTA会長に教
育全国署名の協力を呼びか
けたところ、「今年はぜひ署
名の取り組みを成功させたい。」とPTAの会議に提案
し、決定。そして市内のP
TAブロック会議にも提案
して取り組んでいく決意を
語ってくれました。

へ ッ ユー

日本PTA全国協議会を
はじめ、教育委員会連合会、
教育長協議会、小学・中学
校長会、日教組、その他、
ほとんどすべての教育関係
団体が少人数学級実現と教

職員定数増をもとめる要請

書を提出(2010・4・

27)し、またパブリック

コメントへの提出を要請す

る文書を作り、校長が職員

に紹介した職場もあります。

5団体・署名宣伝行動

5団体(子どもと教育・文化
を守る大阪府民会議・大阪府立高

校30人学級をすすめる会・大阪

市立高校30人学級をすすめる会

大阪の障害児教育をよくする会・

大阪私学助成をすすめる会)

10月23日(土)

午後4時~午後5時予定

JR京橋駅

5団体共同で署名宣伝行動を
行ないます。時間のある方は
ごいっしょに取り組みましよう

光のパレードで

府庁を包囲しよう!

大阪私学教職員組合は、
15日(金)に、私学助成
の削減反対、経常費助成の
回復、学費無償化制度の拡
充などを掲げて、府庁を包
囲する光のパレードを行な
います。

10月15日(金)

午後6時 府庁周辺で宣伝行動

午後7時 府庁前で集会

午後7時半 府庁1周パレード

*参加者は光るグッズを持参
してください。

来年中学校歴史教科書採択

教科書

2006年に改悪された教育基本法にもとづき、2008年改訂の学習指導要

領に準拠した中学校用教科書が今検定中です。文科省は教育の目標を押し付け、「愛国心・道徳心・公共の精神」などを全教科に記述するよう強制しています。

小学校の教科書採択が今年終わり、これから中学校の教科書採択にむけての運動が必要になっていきます。

「新しい歴史教科書をつくる会」が分裂し、中学校歴史と公民分野の教科書は2種類の侵略戦争賛美、天皇中心の愛国心育成の教科

書が採択に付されることが予想されます。「あぶない教科書」を子どもたちに渡さないために、学習し、危険な内容を多くの教育関係者保護者・府民に知らせ、採択させない取り組みを行なっていくましよう。

記念講演

「つくる会」などの教科書攻撃を 終わらせるために」

子どもと教科書全国ネット21事務局長 俵 義文

日時 2010年10月15日(金) 18時30分

会場 大阪府教育会館たかつガーデン 2階「藤」

資料代 500円

「大阪子ども調査」の 普及版を発行します。

予約注文・活用のご案内

注文先

大阪教育文化センター

TEL

06・6768・5773

FAX

06・6768・2527

領価 400円(一冊)

予約注文の場合は

300円(一冊)

コラムより(一部抜粋)

今回の調査結果を通して解明されている子どもの姿は、あらためて子どもという存在のすばらしさを確認できるものです。それはすなわち21世紀の教育と世の中に対する明るい展望を与えるものでもあります。

全日本教職員組合

山口 隆

多くの教職員・保護者の協力で実施できた第3回「大阪子ども調査」は、今年の4月、調査の分析を報告書「21世紀を生きる子どもたちからのメッセージ」として出版しました。大阪教育文化センターは調査報告書の内容をさらに広範な方々に知っていただきたいということで普及版の発行を準備しています。そこで普及版第1刷については、割引き領価で予約注文を募っています。この機会にお読みいただき、教育懇談会や学習会などでご利用下さい。

地域子育てネットの紹介

東住吉ネット

東住吉子育てと教育・文化ネットワークは、結成されて16年になります。

これまで、教育のつどいや教育相談、公園マップづくり、文化ホール建設運動など、多様な活動をしてきました。最近は、「夏休み子どもフェスタ」を開催しています。ビデオ上映や紙しばいの全体会とゴム銃・工作・ものづくりなどのコーナーを組み合わせ、学童保育の子どもたちや地域の子どもたちが楽しく活動しました。年1回の総会と講演会では、昨年50名の参加があり、地元の木津川計さ



んのお話が大好評でした。劇団からの参加があるのも特色で、よい文化を広める活動も一つの柱となっています。また、30人学級の署名など教育条件をよくする運動も協力し合っており、助け合い活動も大きな柱です。月1回の世話人会を軸にして今後も創造的な活動を大切にしたいと思います。
(事務局 図書 啓展)

第60回目の教育研究集会

「教育のつどい」

教職員・父母・地域住民で教育・子育てのことを語り合います。誘い合って、ご参加ください。(参加費・無料)

全体会 10月30日(土) 13:30
会場 和泉シティプラザ・弥生の風ホール
(泉北高速鉄道「和泉中央」駅より徒歩3分)
* 歓迎行事 合唱組曲「ちいちゃんのかげおくり」
「よさこい河内音頭」
* 講演 「子どもたちのシグナル見えますか
—子どもたちと心かよわせる子育て・教育を—」
廣木 克行(大阪千代田短期大学学長)

編集後記

現在の情勢を反映して各団体、地域では多採、多様な取り組みが行なわれています。

第2号では、その紹介を中心に掲載しました。今後、様々な取り組みの様子や生の声を事務局に送ってください。

読みやすい紙面にするためのアドバイスをいただきました。心にとめて作っていきたいと思います。

それにしてもパソコンは便利だけれど、なかなかいうことをきいてくれません。パソコンの上達も作成者の緊急課題となっている今日このごろです。(S)